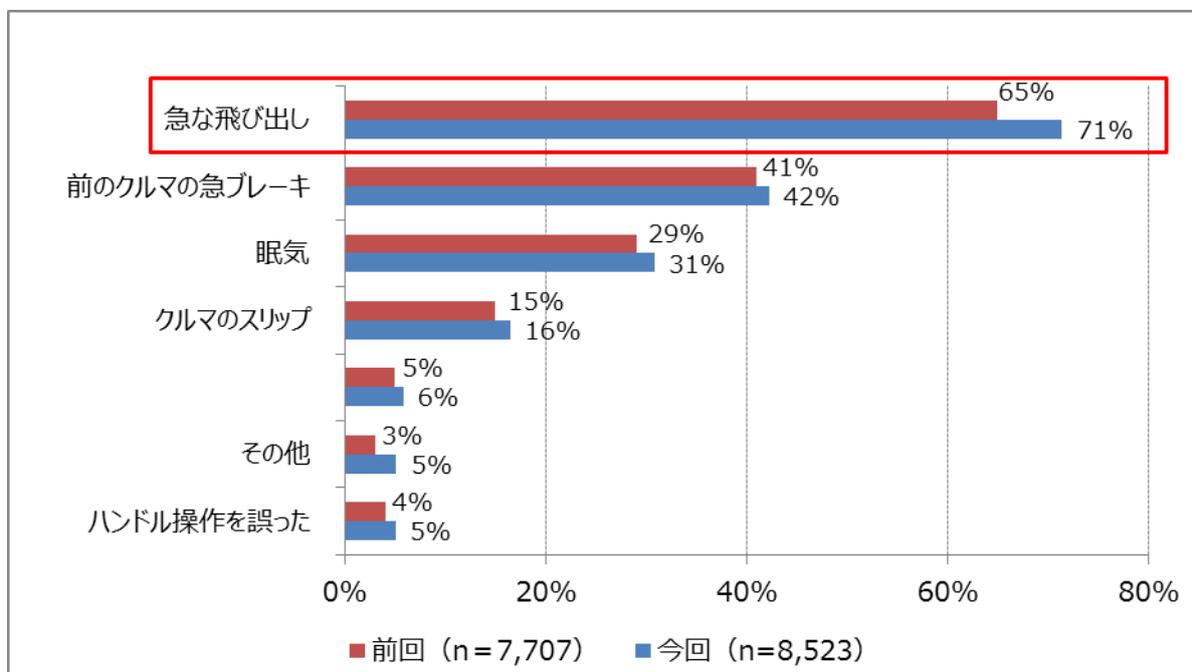
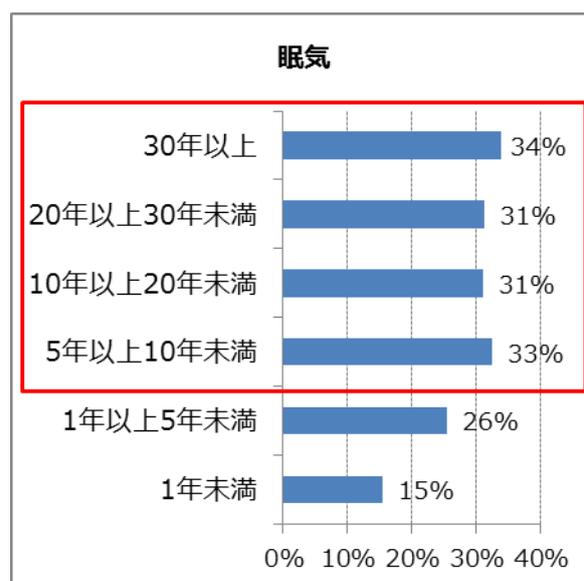
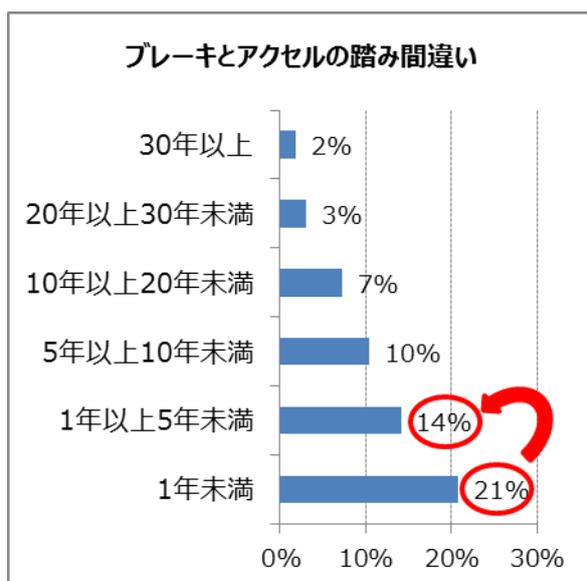


② 運転中のヒヤッとした経験は71%が「急な飛び出し」

「どんな時にヒヤッとしたか」を聞いたところ、「急な飛び出し」が71%、次いで「前のクルマの急ブレーキ」が42%となり、予測が難しい第三者の急な動きによって多くの人がヒヤッとを経験していることがわかりました。エリア別でみると、「クルマのスリップ」に地域特性が顕著に表れ、北海道が49%と半数近い人が経験しており、次いで北陸36%、北信越が32%となり、その他地域に比べ高くなりました。



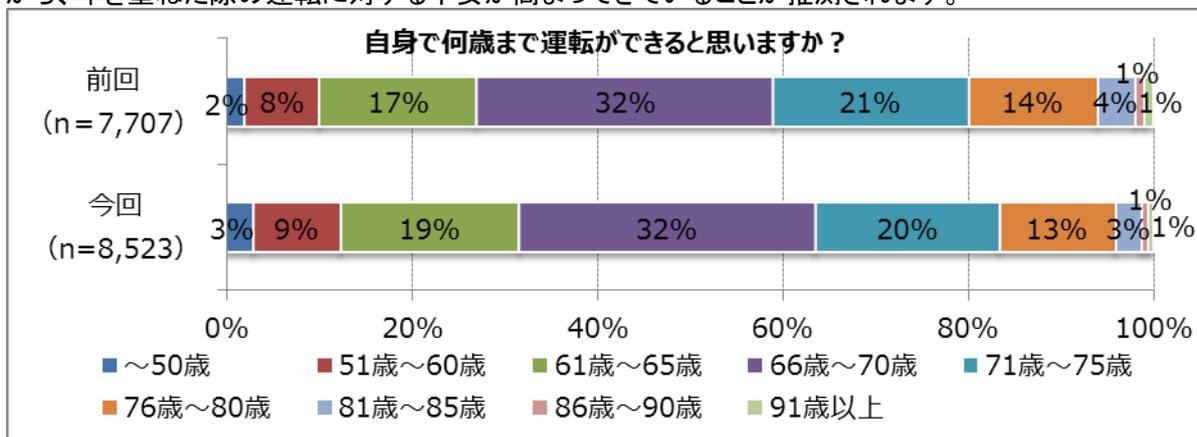
免許取得年数別でみると、「ブレーキとアクセルの踏み間違い」が1年未満は21%であるのに対して、1年以上5年未満は14%に減少していることから、1年でも運転経験を積むことで操作ミスによるヒヤッとが減少していくことが分かります。一方、5年以上の運転経験を積むと、「眠気」によるヒヤッとが3割を超えることから、運転に対する慣れや緊張感の緩みが影響していると推測できます。



③ 自身の考える運転限度年齢は、「70歳以下」とする人が6割以上

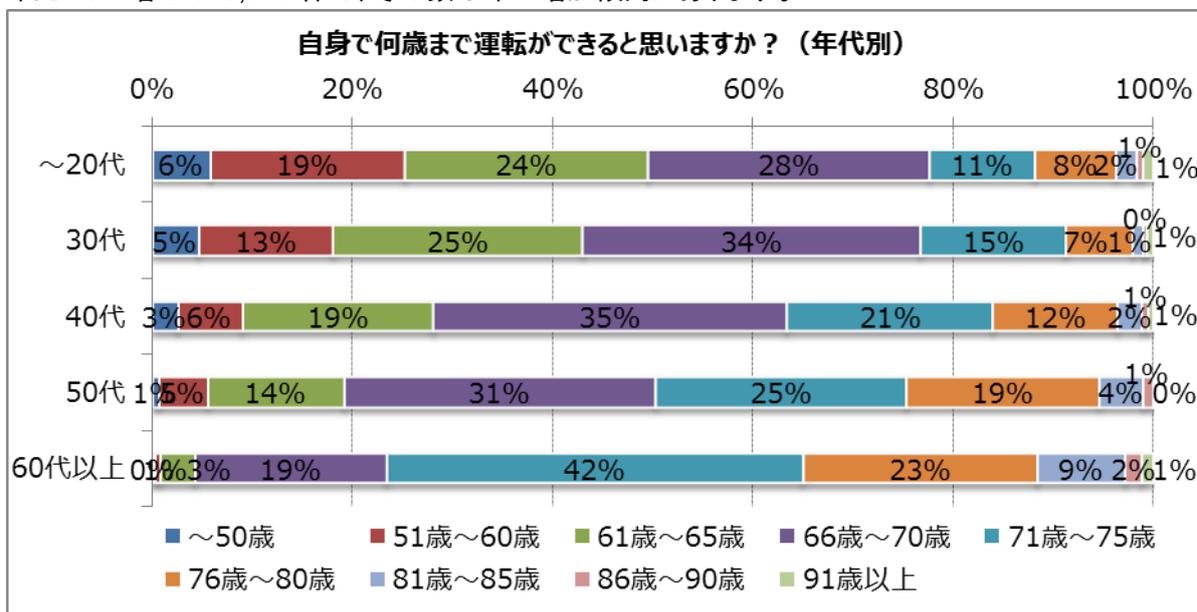
「自身で何歳まで運転ができると思うか」を聞いたところ、6割以上が「70歳以下」と回答しました。一番多かった年齢層は「66歳～70歳」の32%、次いで「71歳～75歳」が20%、「61歳～65歳」が19%となりました。

前回と比較すると、「66歳～70歳」の割合に変化はないものの、「65歳以下」が4pt増加していることから、年を重ねた際の運転に対する不安が高まってきていることが推測されます。



回答者を年代別でみると、「71歳以上」でも運転できると回答する人が20代以下は約2割となる一方で、「60歳以上」の人は約8割となりました。性別でみると「71歳以上」でも運転できると回答する人の割合は、男性よりも女性の方が多く、世代や性別によって傾向に差が出ました。

なお、警察庁のデータでは、平成28年度中の申請による65歳以上の運転免許の取り消し件数は、前年比20%増の345,313件で、その数は年々増加傾向にあります。



運転中にヒヤッとを経験した方の多くは、自身の運転操作によらない第三者の急な行動が原因となっています。予想外の事態が発生した場合でも対応できるように車間距離をとったり、視野を広くしたりするなどゆとりが大切です。

また、ヒヤッとの原因である「ペダルの踏み間違い」や「眠気」は重大事故につながる危険性があることから、運転の際は十分注意しましょう。